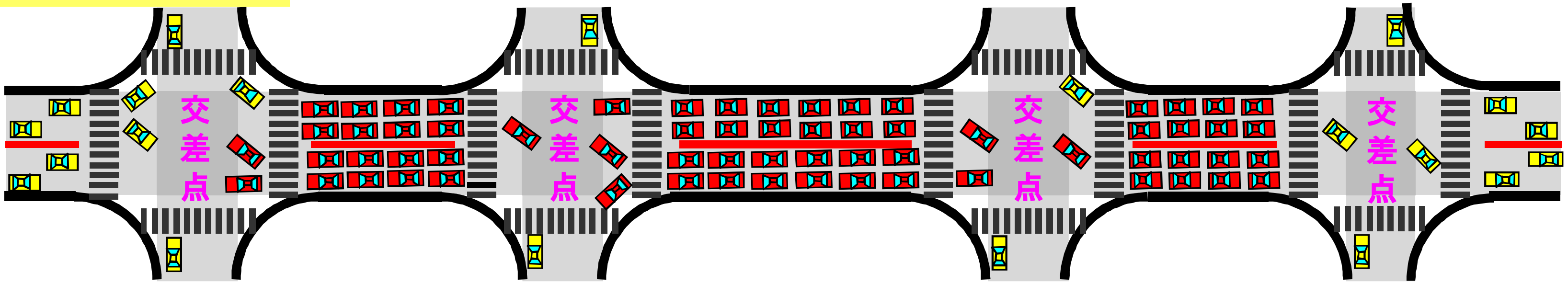
3. 交差計画

第1回検討会　提示内容

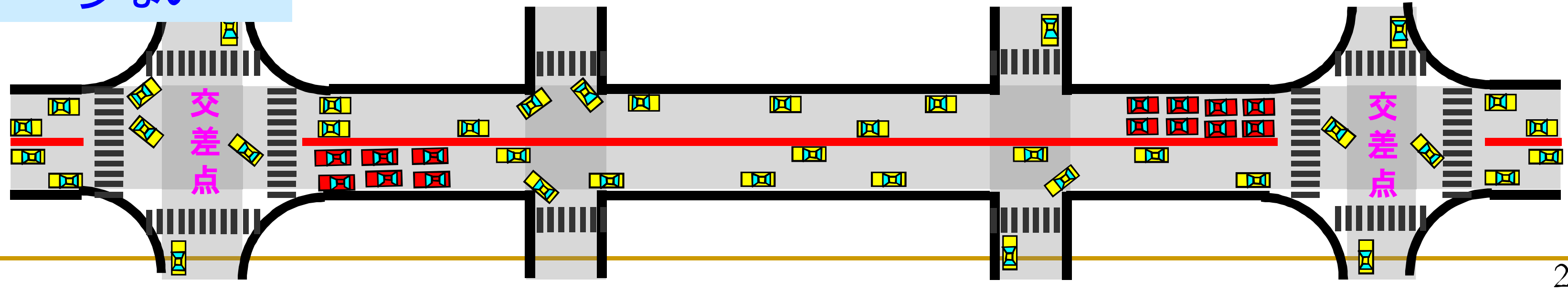
◆交差計画上の留意点①

交差点は、「沿道利用」の観点では、多く配置されるのが望ましいが、「通行の安全性」や「交通の円滑化」の観点では、できるだけ集約（最小化）することが望まれます。

交差点数 多い → 交差点間隔が短いため、渋滞が発生しやすい。交差点は事故が発生しやすいため、事故の危険性が高まる。

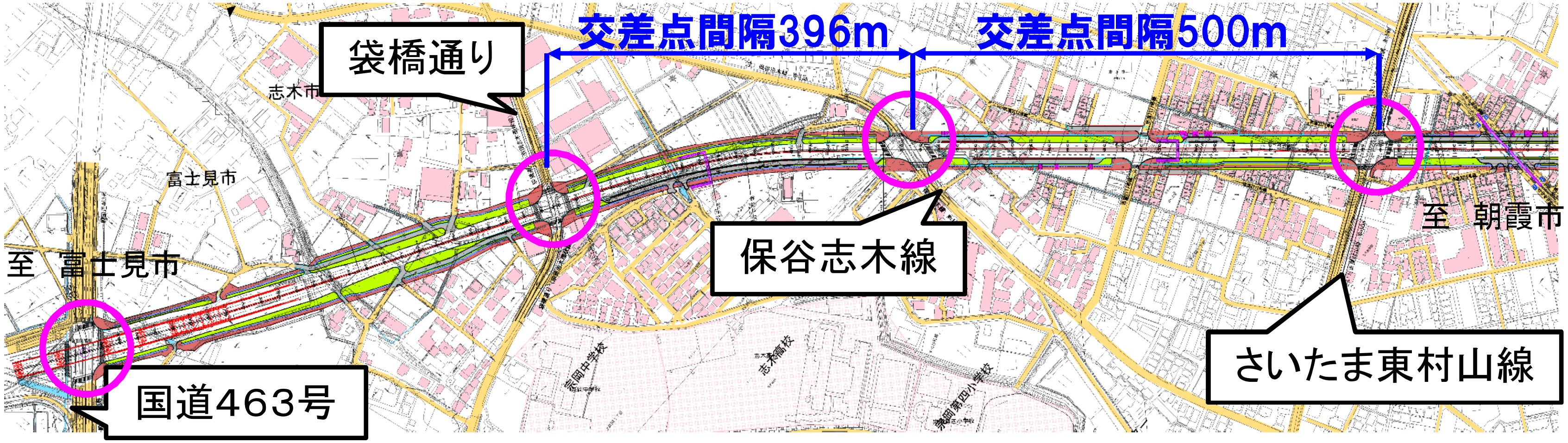


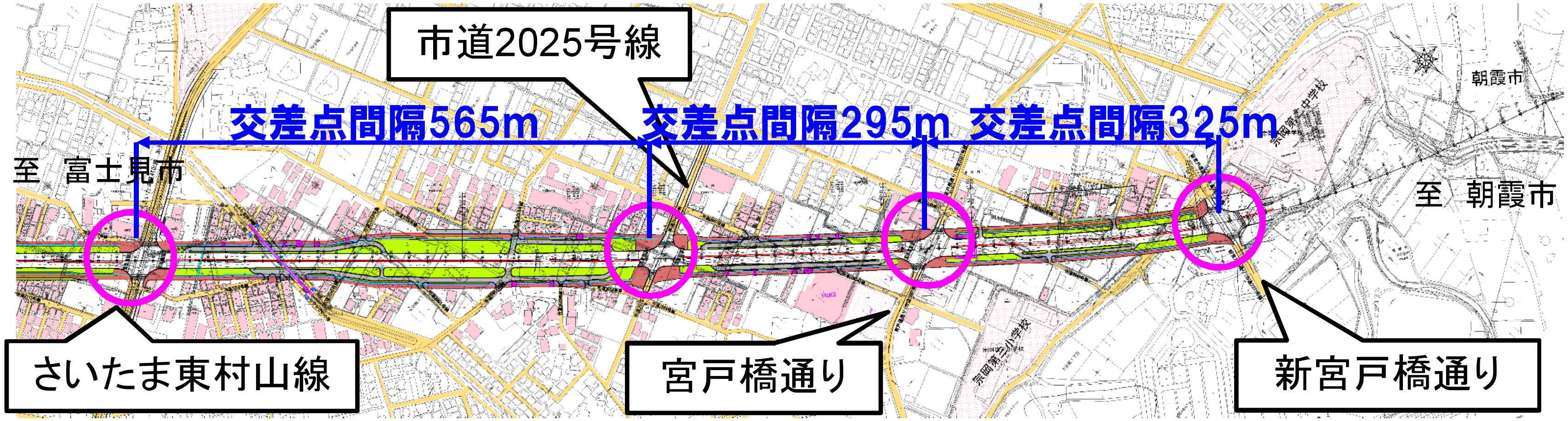
交差点数 少ない → 交差点間隔が長く、横断する箇所が限られるため、不便になる。



◆交差点配置計画

交差点箇所、及び交差点設置間隔は下図の通り。
当該工区の交差点数は6箇所。

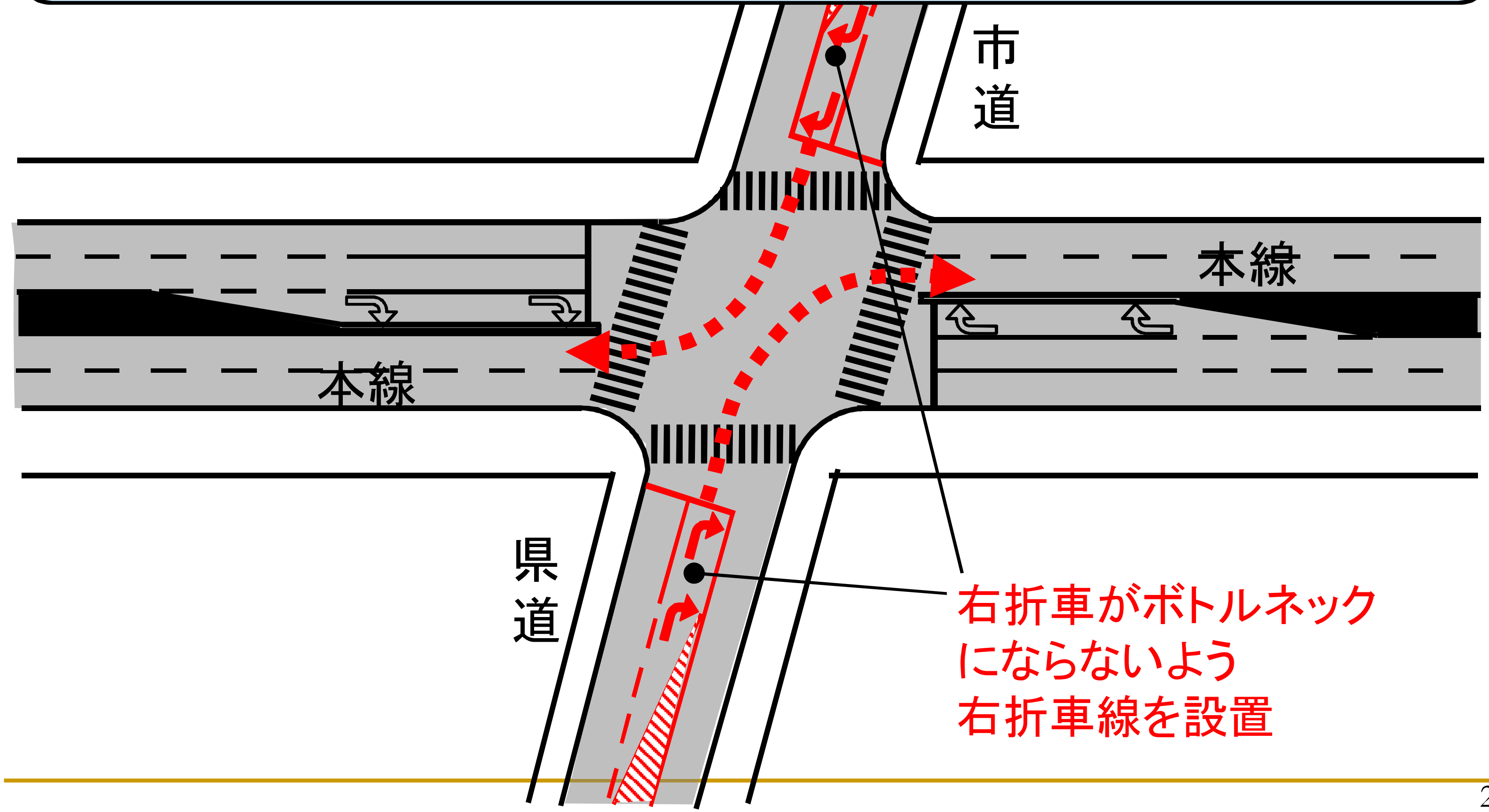




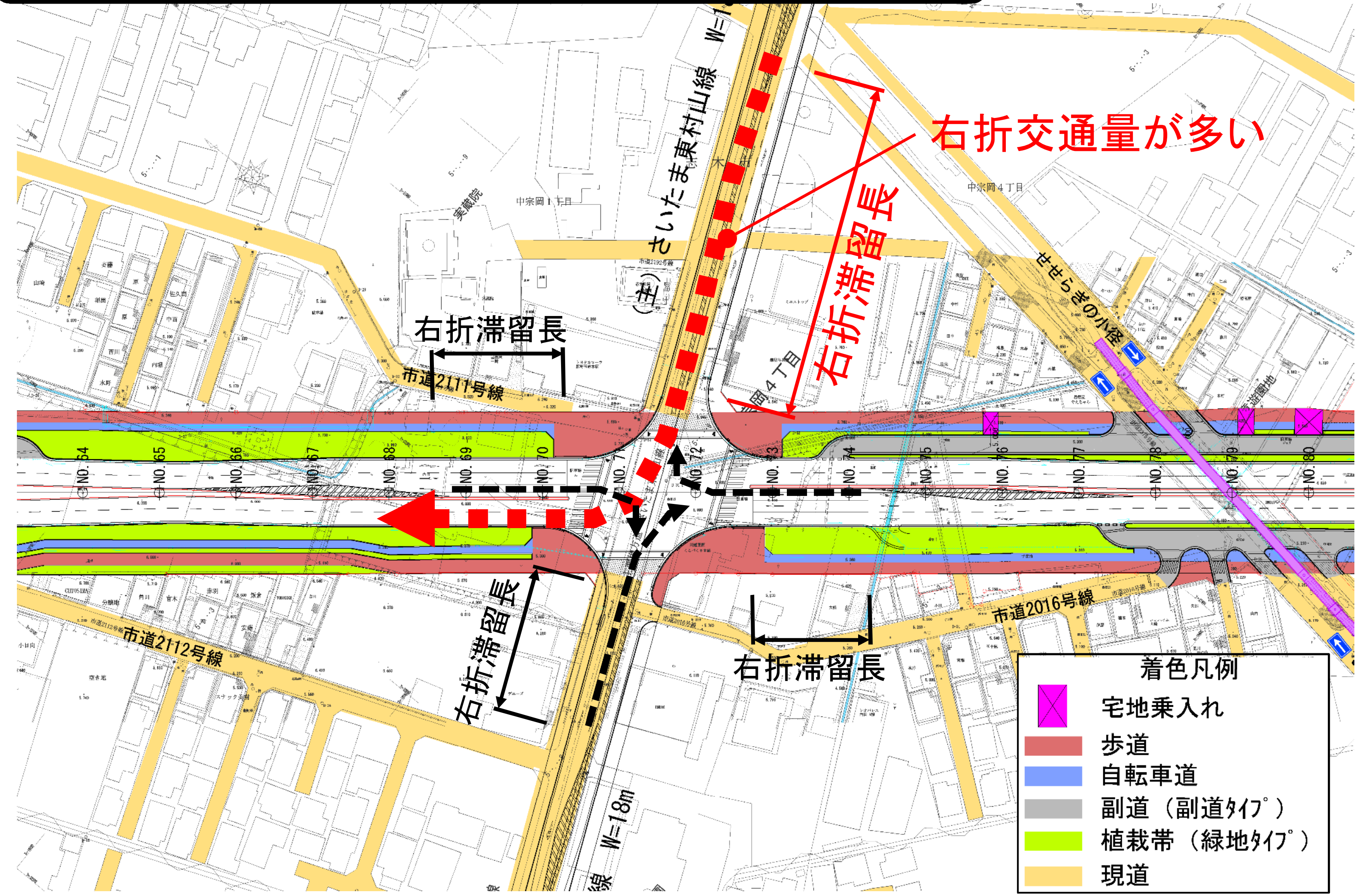
第1回検討会　提示内容

◆交差計画上の留意点②

本線の新設に伴い、交差道路（既存の県道や市道）側の渋滞対策を併せて計画する必要があります。



◆交差点計画例（さいたま東村山線　交差点）

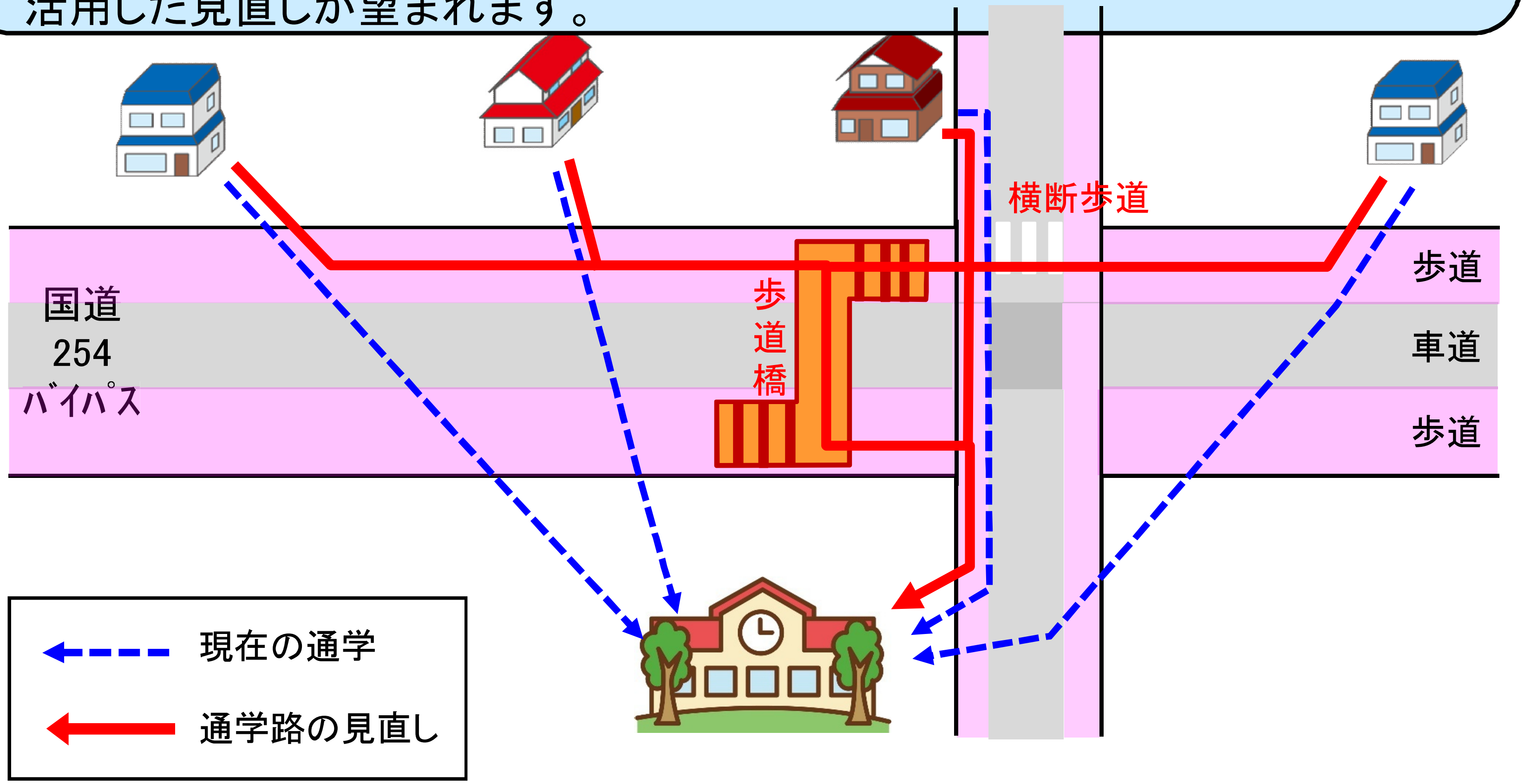


4. 立体横断施設

第1回検討会　提示内容

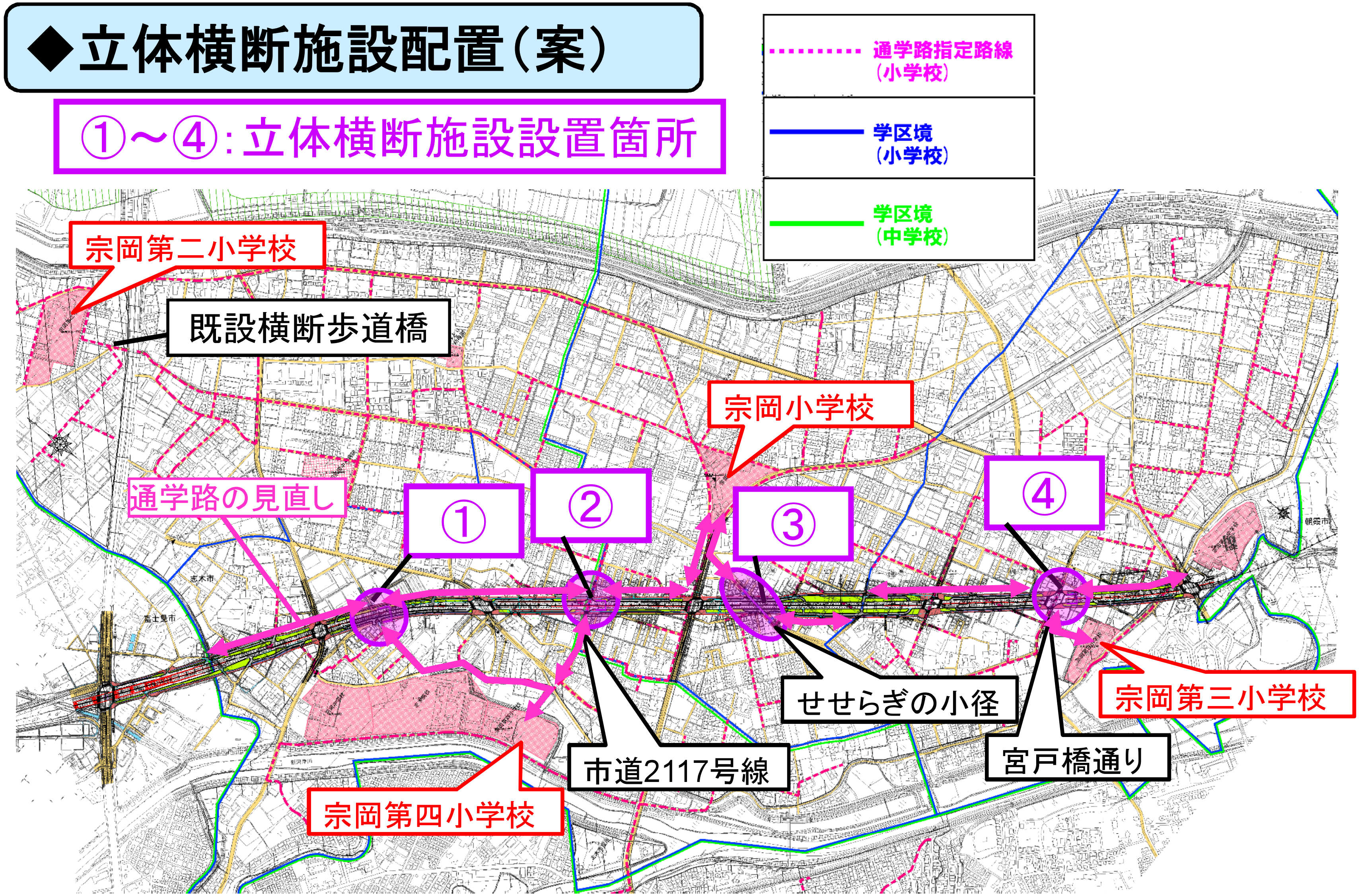
◆立体横断施設の配置計画上の留意点

立体横断施設の設置は、通学路や歩行者数等を総合的に勘案して検討します。併せて、通学路は、バイパスの歩道を活用した見直しが望まれます。



◆立体横断施設配置（案）

①～④：立体横断施設設置箇所



歩行者等の立体横断施設（歩道橋、地下道）の設計方針

・昇降方式や取付部の形状は、地形や利用形態(人の流れなど)を勘案し、可能な限り人にやさしい形式とする。

（斜路付き階段）

「横断歩道橋」と「横断地下道」に対する意見

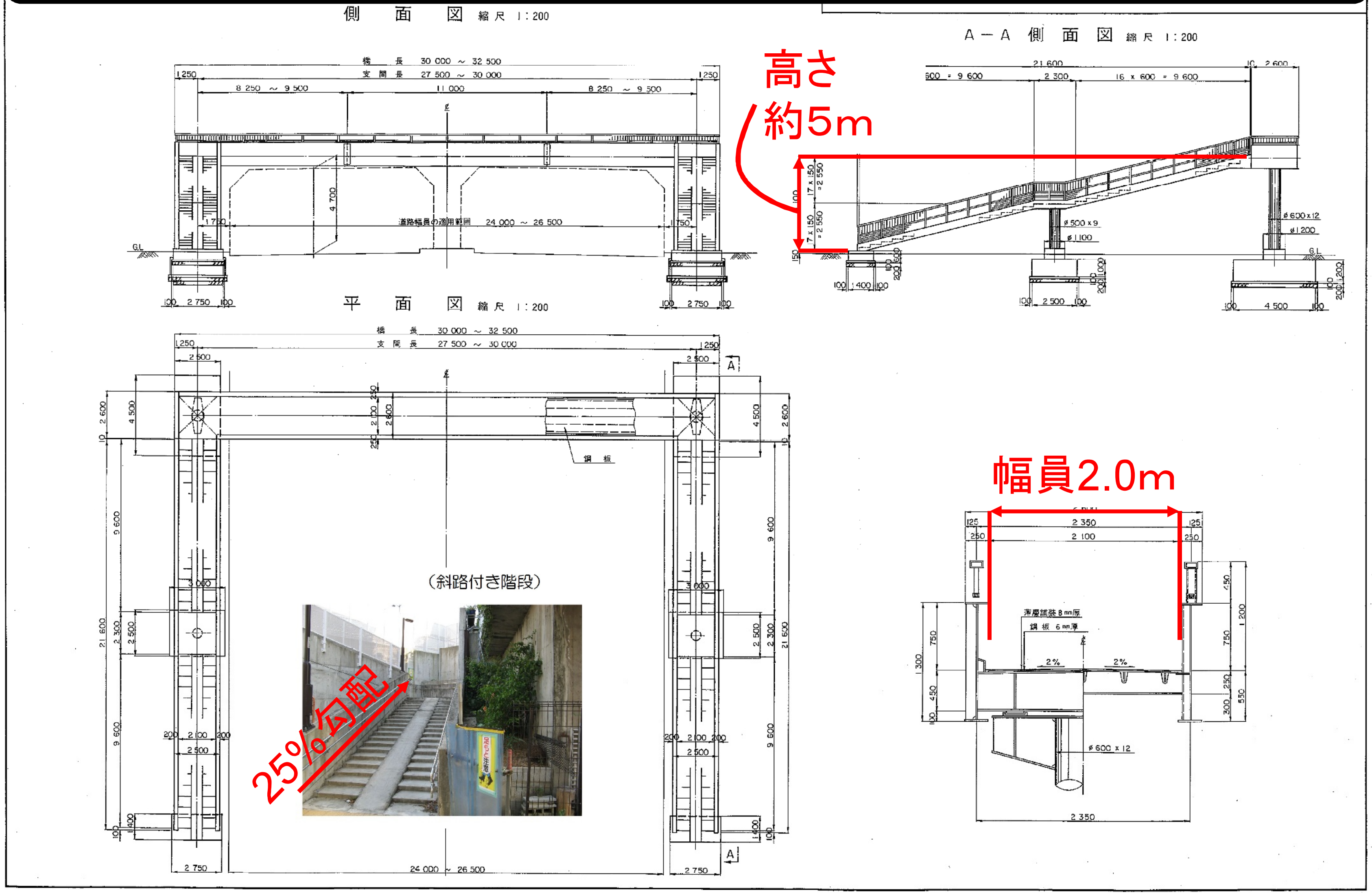
「横断歩道橋」	防犯上は横断歩道橋が望ましいが、昇降高さが大きく階段等の使い勝手が悪い（スロープ化のためには取付部が長くなる）、浸水の心配が無い。
「横断地下道」	防犯上はよくないが、昇降高さが小さく階段等の使い勝手がよい。（防犯対策としては、照明を明るくしたり、防犯カメラの設置等が必要）

（横断地下道）

国道254号バイパス環境緩衝帯整備検討協議会（H20）検討結果より

主に小学生の通学路として利用されるため、防犯面を考慮して横断歩道橋（斜路付き階段）を設置することとする。

◆立体横断施設参考例（斜路付き階段横断歩道橋）



5. 植　　栽

第1回検討会　提示内容

◆植栽計画上の留意点①

・樹種の選定は、市のシンボルや維持管理面を考慮しながら検討します。
・樹木の配置は、交通安全や防犯等を踏まえ、視認性の確保や緩衝機能を考慮しながら検討します。

▲志木市の木・花

▲ハナミズキ
（維持管理しやすい植栽例）

◆環境緩衝帯植栽計画の基本方針

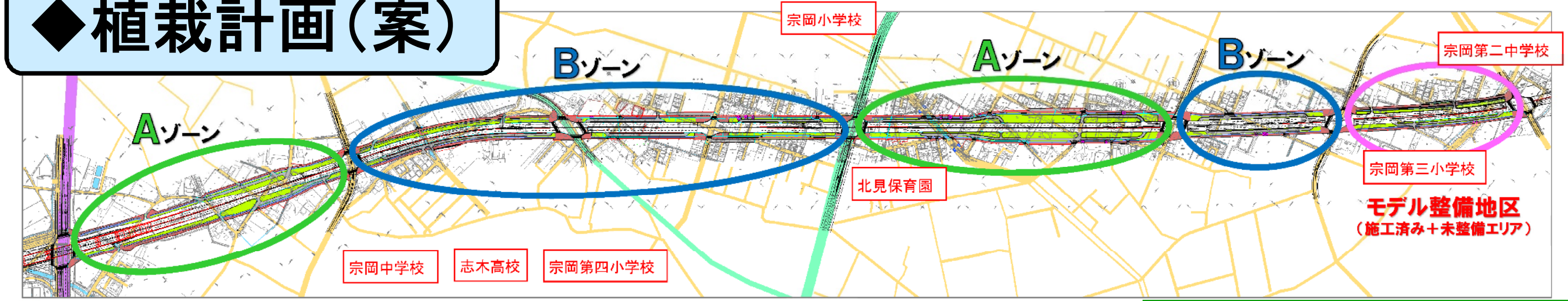
○ **協議会の検討結果および整備済み区間（モデル整備地区）の植栽を踏まえ**、樹種の選定および配置計画を行う。

○ 環境緩衝帯の整備タイプ（副道タイプ・緑地タイプ）および沿道状況に合せた**ゾーニングを行い、ゾーン毎に特色を持たせる**。

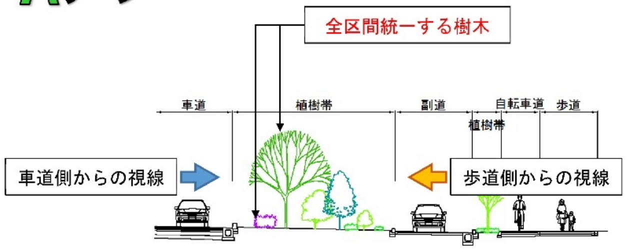
○ **車道側からの視線と歩道側からの視線（自転車道・副道を含む）の両視線　に配慮**し、樹種の選定および配置計画を行う。

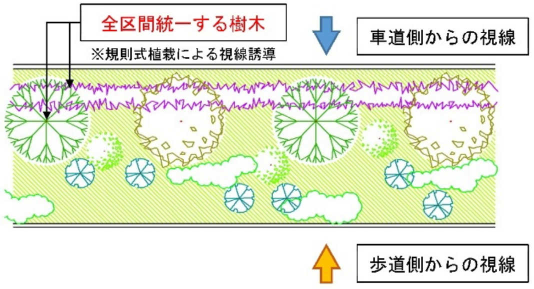
○ 花や実、新緑や紅葉、香りなどの変化で**季節感を感じられるような樹種を選定し**、親しみや潤いある快適な歩行空間を形成する。

◆植栽計画（案）



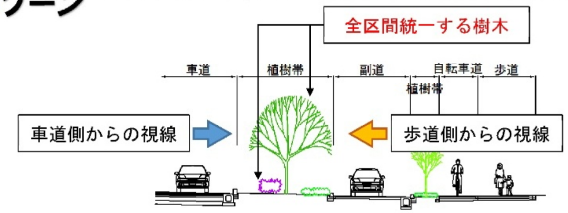
Aゾーン

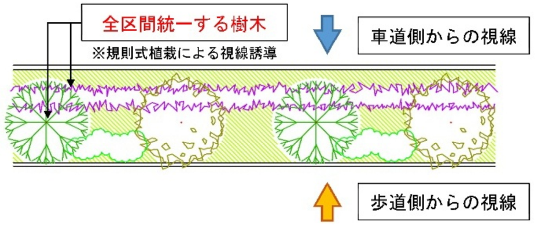




Aゾーン
（緑地面積が広いエリア）
緑地帯の広幅員を活かし、公園的に高・中・低木をランダムに配植する。
花や実、香りある樹木等により四季の変化をもたせる。

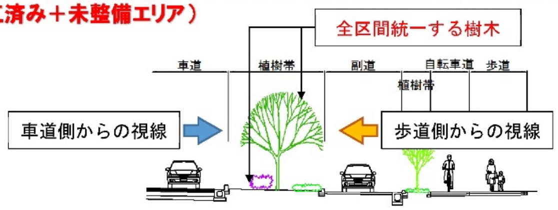
Bゾーン

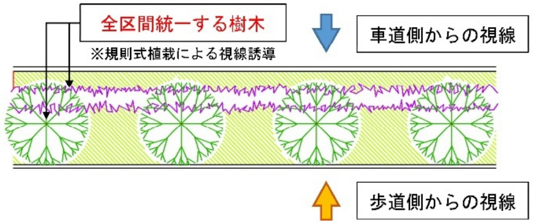




Bゾーン
（緑地帯が直線的なエリア）
樹木を規則的に配植し、圧迫感のない整然とした美しさを強調する。

モデル整備地区
（施工済み＋未整備エリア）





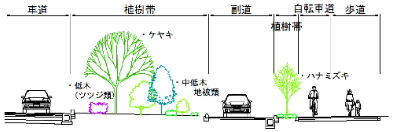
モデル整備地区
（施工済み＋未整備エリア）
整備済みのケヤキ、ハナミズキを延長して植え、交差点間の景観の統一を図る。

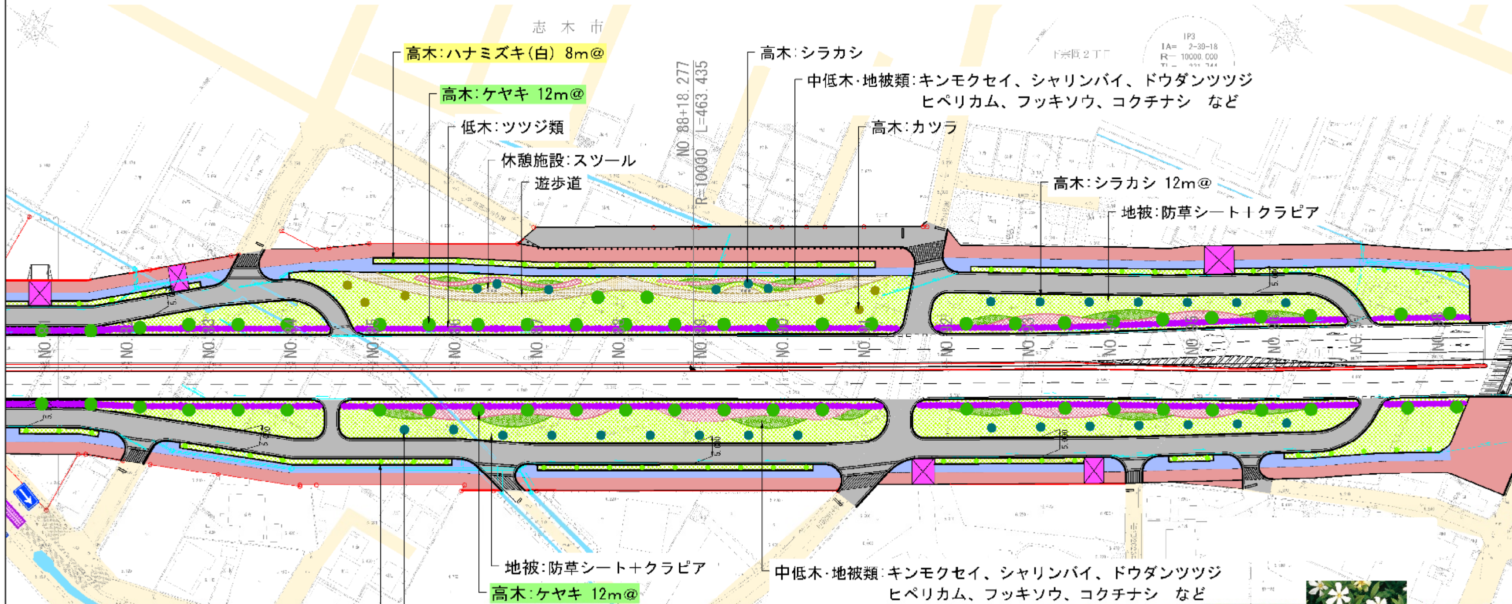
◆植栽計画（案）

【Ⅰ案】主樹木を『モデル整備地区』と同じ樹種 ”ケヤキ”と”ハナミズキ” の連続植栽で統一する案

Aゾーン（緑地面積が広いエリア）

■断面イメージ■





■シャリンバイ

■ツツジ類

■コクチナシ

■ヒペリカム

■ケヤキ

■ハナミズキ（紅・白）

■ドウダンツツジ

■キンモクセイ

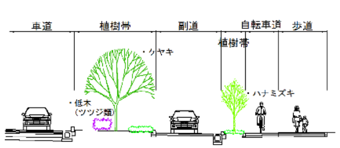
■フッキソウ

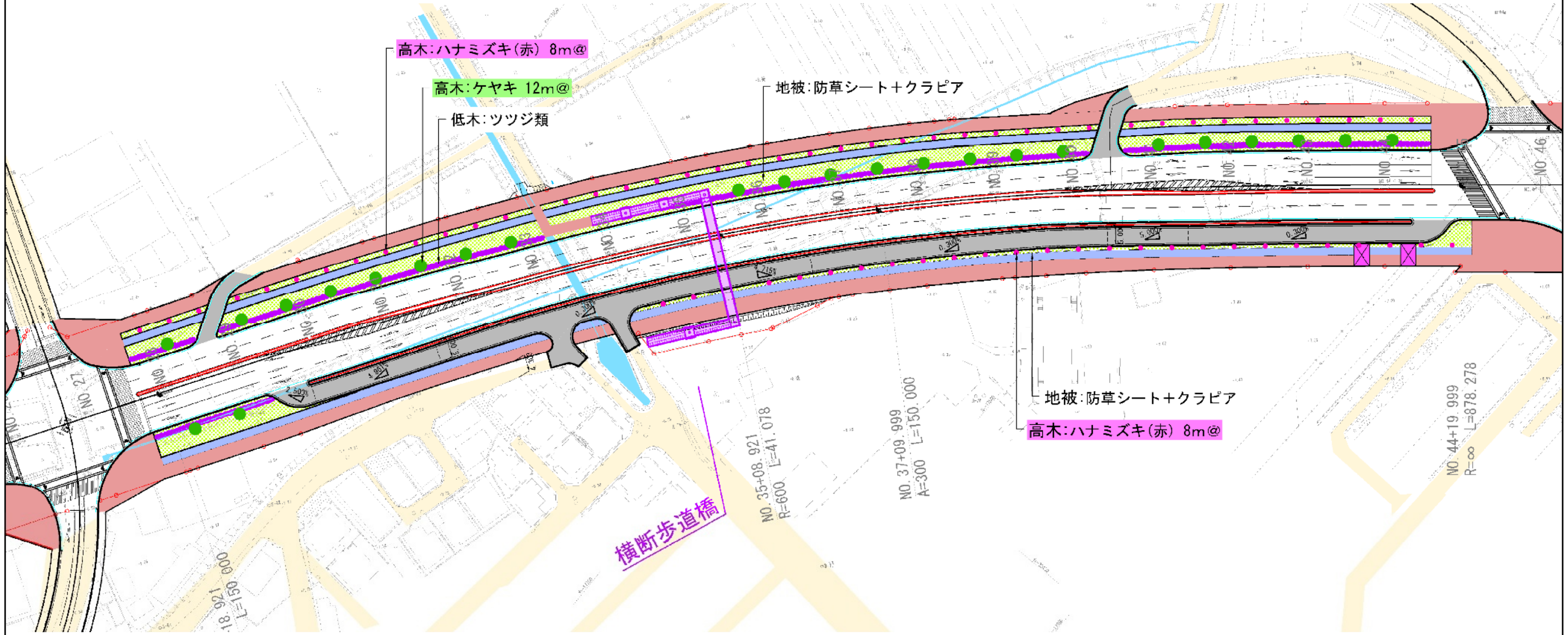
◆植栽計画(案)

【Ｉ案】主樹木を『モデル整備地区』と同じ樹種 〝ケヤキ〟と〝ハナミズキ〟の連続植栽で統一する案

Ｂゾーン(緑地帯が直線的なエリア)

■断面イメージ■





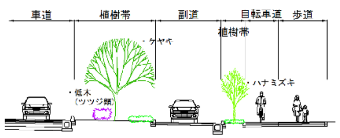
■ケヤキ

■ハナミズキ(紅・白)

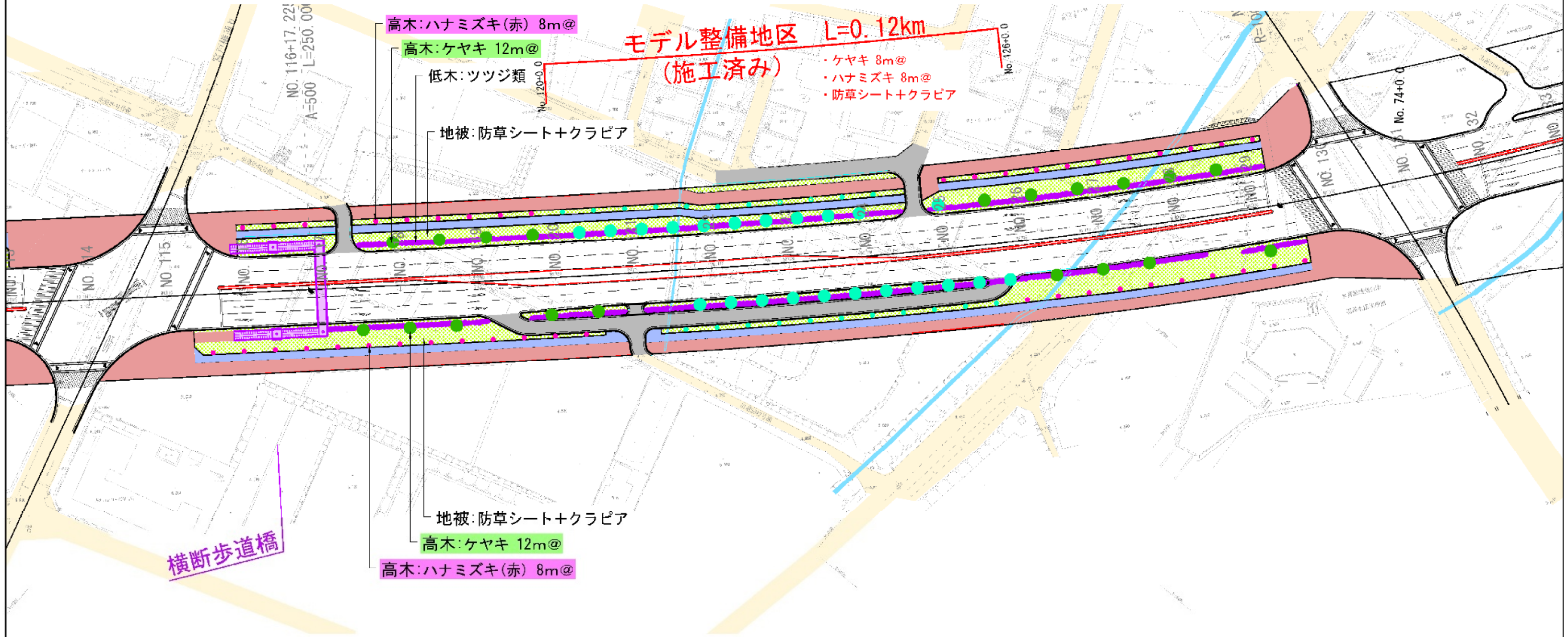
◆植栽計画（案）

【Ⅰ～Ⅲ案　共通】主樹木を施工済み区間と同じ樹種“ケヤキ”と“ハナミズキ”の連続植栽で統一する
但し、新に植えるケヤキの植栽間隔は 12m@ とする

■断面イメージ■



モデル整備地区（施工済み＋未整備エリア） NO.115～NO.130区間



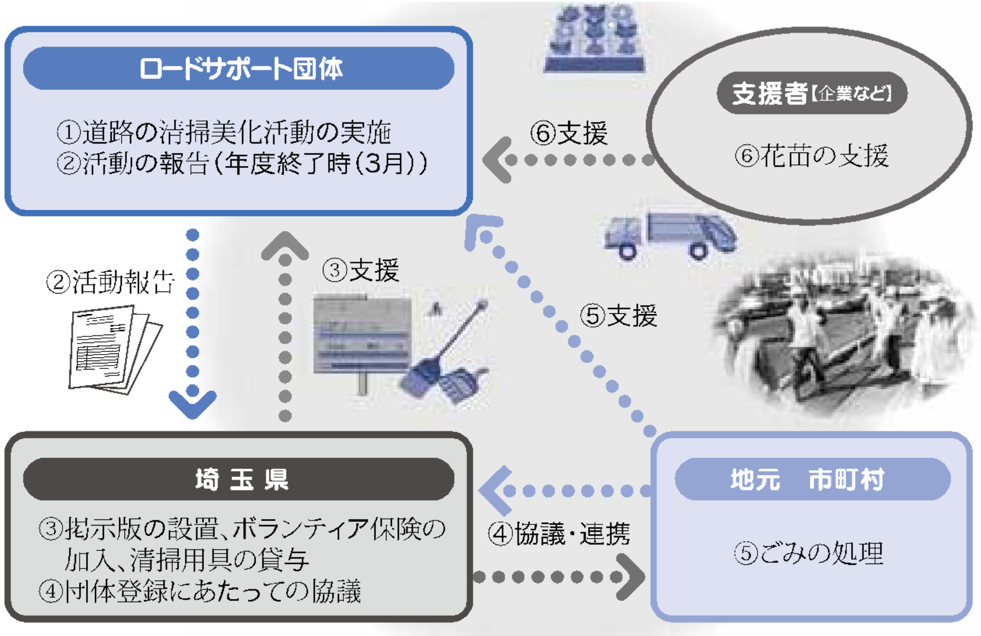
■ケヤキ

■ハナミズキ（紅・白）

第1回検討会　提示内容

◆植栽計画上の留意点②

＜彩の国ロードサポート制度＞
県管理道路において、清掃美化活動を行う住民等によるボランティア制度で、快適な道路環境づくりと道路愛護意識の向上を図る仕組みです。



▲彩の国ロードサポート制度の仕組み

四区婦人会

- ■ **市町村**／志木市・**活動形態**／清掃美化活動
- ■ **場所**／県道さいたま東村山線・保谷志木線
- ■ **会員数**／ 26 名
- ■ **認定年度**／平成 17 年 6 月（活動 10 年目）

▲活動団体の事例